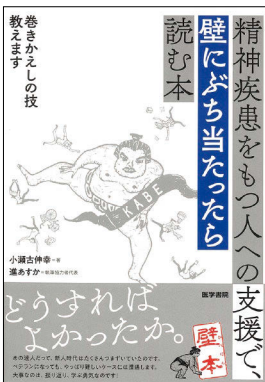


今月の3冊 プラス +1



精神疾患をもつ人への支援で、 壁にぶち当たったら読む本 巻きかえしの技教えます

著：小瀬古伸幸 執筆協力者代表：進あすか
発行：医学書院 定価：2310 円（本体 2100 円＋税 10%）

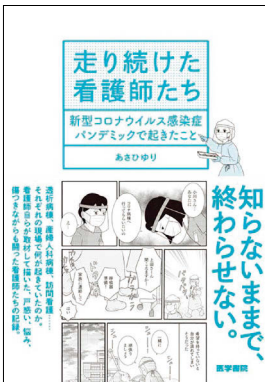
精神科訪問看護にはつまづきがつきもの。葛藤が残る新人時代の精神科訪問看護での「壁」体験をまとめた本書は、実際にあった 15 の困難事例を振り返り、著者本人やスーパーバイザーが今だったらこう考える、こうしたらよかったという精神科訪問看護の「あんな手・こんな手」を提案する。新人が陥りがちな事例が網羅された精神科訪問看護の必読書。



対話と承認のケア 増補版 ナラティブが生み出す世界

著：宮坂道夫
発行：医学書院
定価：2750 円（本体 2500 円＋税 10%）

対話や心のケアの質を高めるための方法論としてのナラティブ・アプローチを探究する『対話と承認のケア』の増補版。新たに付された補遺では、これまであまり注目されなかった聴衆の多様性や語りにおける役割の交換可能性、ケアの授受における対等性についての展望を示す。索引が付いて利便性もアップし、研究職だけでなく臨床の医療職にも有用な 1 冊。

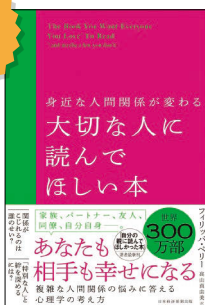


走り続けた看護師たち 新型コロナウイルス感染症パンデミックで起きたこと

著：あさひゆり
発行：医学書院
定価：1980 円（本体 1800 円＋税 10%）

2020 年、世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症パンデミック。医療現場は逼迫し、感染への警戒からケアのあり方が大きく変わった。その時、それぞれの現場で何が起きていたのか。コロナ病棟、透析病棟、産婦人科病棟、訪問看護……の実態を、看護師で漫画家の著者が取材して描いた、戸惑い、悩み、傷つきながらも闘い続けた看護師たちの記録。

手軽な
+1



身近な人間関係が変わる 大切な人に読んでほしい本

著：フィリップ・ペリー 訳：高山真由美
発行：日経 BP 日本経済新聞出版 定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）

心理療法の第一人者が、心理学の基本的な考え方に基づいて、さまざまな人間関係の悩みを読み解き、答える。本書では、自分も相手も幸せになる自己主張のしかた、ストレスや不安の管理方法から人間関係をよくするための行動指針までを実践的にアドバイスし、人生の難しい局面をうまく乗り越え、幸せを叶えるための心がまえのヒントを示す。